

## 平成 23 年度 事業報告

平成 23 年度は、東日本大震災の復興への対応など厳しい財政状況のもとで、「介護サービスの基盤強化のための介護保険法等の一部を改正する法律」が 6 月に成立・公布されるとともに、本年 4 月 1 日介護報酬と診療報酬の同時改定が行われた。

今回の介護保険法の改正は、高齢者世帯、特に高齢単身世帯が急増する中、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるようにするためには、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスを切れ目なく提供する「地域包括ケアシステム」の構築が必要であるとの観点から、その実現に向けた取組みを進めることを主眼に行われた。

本会では、今回の法改正への対応として「介護職員等によるたんの吸引等の実施の制度化」について、会員各施設が施設内研修を実施して経過措置対象者を必要人数養成・確保できるよう、県の協力を得て 11 月 7 日に制度改正の説明会を開催するなど会員への情報提供に努めるとともに、独自に 12 月に「特別養護老人ホームにおける看護職員と介護職員による連携協働のための研修会」（指導看護職員養成研修会）を開催した。

介護報酬改定に向けては、介護保険推進委員会を中心に、会員事業所の意向調査、23 年度加算・食費コスト調査等を実施するとともに、職員の処遇改善、地域区分の見直しに対する本会の意見を、国、県、関係国会議員に要望・提言した。厚生労働省関係課との意見交換の中で、今後の介護現場のデータ等の提供を要請された。

また、24 年度の兵庫県の予算編成に向けては、施設整備、福祉人材確保策等について知事、県議会、主管部課に要望・提言した。

東日本大震災への対応については、県が宮城県と協議して設定した職員派遣や被災者の受入れに係るスキームによる要請がなかったものの、義援金を東北ブロック老人福祉施設協議会を通じて被災 3 県（宮城、岩手、福島）に贈呈し、青年部役員による現地視察を実施するとともに、大規模災害に備え本会の対応マニュアルの検討を行った。併せて、施設長研修、青年部会研修会及び LSA 研修会に被災施設の職員を講師に依頼し、災害対応の教訓、被災地の現状、被災施設再建の問題点・課題等について研修した。また、9 月の台風 12 号についても義援金を募集し、近畿老人福祉施設協議会と協同して、被災施設等への支援を行った。

一般社団法人化については、6 月の総会で移行方針の決定、定款変更及び役員改選をした後、移行認可申請をしていたが、3 月 19 日付で兵庫県知事の認可を受け、本年 4 月 1 日付で一般社団法人となった。

このほか定款で定める本会の目的実現のため、事業計画に定めた重点項目に沿った諸事業を、7 委員会、3 部会の活動を通じて実施するとともに、「LSA 活動強化事業」等県からの受託事業を確実に実施し成果を上げた。詳細な実績については、次ページ以降のとおりである。

## 1. 各種委員会・部会報告

### ① 介護保険推進委員会

本年度は、平成24年度報酬改定に向けて会員事業所(特養・ショート)の意向調査と平成23年度の加算・食費コスト調査の実施や施設運営・経営状況等の課題を整理し、厚生労働省・国会議員に対し提言を行った。その状況は、本会機関紙「かけはし」の号外として発行した。

また、介護保険に関する相談窓口を設置し、県民からの介護保険制度の利用に対する相談に応じた。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
介護保険推進委員会 (4回)	6月7日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成22年度事業報告について 2. 平成23年度事業について 3. その他	県老協 11名
	7月5日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成23年事業について 平成24年度介護報酬改定について 2. その他	県老協 11名
	9月20日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成23年事業について 平成24年度介護報酬改定について 2. その他	県老協 9名
	12月20日	県福祉センター	<報告事項> 次期介護報酬改定に向けての要望及び提言報告 <協議事項> 平成24年度事業計画について その他	県老協 10名
調査研究事業	第1回		平成23年度介護保険調査(加算状況)	
	第2回		利用者1人1日あたり食費コストの調査	
調査委員会	9月5日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成24年度介護報酬改定について 調査結果 2. その他	県老協 4名

### ② サービス評価委員会

会員の特別養護老人ホームのサービス水準の向上を支援することを目的に、本年度も13施設と再評価2施設を訪問し、サービス内容の改善方法やサービスの質の向上について助言等を行うとともに、利用者のサービスの選択に資することを目的として、客観的な評価結果を報告書にまとめ一般に公開した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
班長会議	4月11日	県福祉センター	<協議事項> 1. サービス評価事業について ・ 班長の役割について ・ タイムスケジュールについて ・ 委員の心得について 2. 平成23年度のサービス評価事業のあり方 ① 委員の変更・班構成 ② 平成23年度サービス評価実施施設 ・ 実施日の調整方法 ・ 評価基準～パートⅢ～の文言について	4名

			<p>③ 今年度のすすめ方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施施設説明会</li> <li>・ 再評価実施施設説明会</li> <li>・ 委員勉強会</li> </ul> <p>3. サービス評価希望項目について</p> <p>4. 平成 22 年度サービス評価事業の報告書について</p> <p>5. その他</p>	
再 評 価 実施施設 説 明 会	6月9日	県福祉センター	<p>1. 実施施設の紹介</p> <p>2. 概要説明</p> <p>3. サービス評価事業記入手順について</p> <p>4. 再評価事業のあり方について</p> <p>5. 事前資料などの提出について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ サービス評価事業実施要綱</li> <li>・ サービス評価委員名簿</li> <li>・ 当日タイムスケジュール</li> </ul> <p><b>【事前提出資料】</b></p> <p>施設データ</p> <p>職員状況(常勤・非常勤、男女)</p> <p>利用者の状況</p> <p>サービス評価希望項目</p> <p><b>【実施後提出資料】</b></p> <p>サービス評価事業実施施設所感文</p> <p>サービス評価事業総括票</p> <p>6. 実施視察日程調整について</p> <p>7. 質疑応答</p> <p>8. その他</p>	2施設 5名
実施施設 説明会	6月9日	県福祉センター	<p>1. 平成 23 年度サービス評価実施施設の紹介</p> <p>2. サービス評価事業概要説明</p> <p>3. サービス評価事業記入手順について</p> <p>4. 事前資料などの提出について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ サービス評価事業実施要綱</li> <li>・ サービス評価委員名簿</li> <li>・ 当日タイムスケジュール</li> </ul> <p><b>【事前提出資料】</b></p> <p>施設データ</p> <p>職員状況(常勤・非常勤、男女)</p> <p>利用者の状況</p> <p>サービス評価希望項目</p> <p><b>【実施後提出資料】</b></p> <p>サービス評価事業実施施設所感文</p> <p>サービス評価事業総括票</p> <p>5. 実施視察日程調整について</p> <p>6. 質疑応答</p> <p>7. その他</p>	15 施設 41 名
サ ー ビ ス 評 価 事 業 ス キ ル ア ッ プ 研 修 会	8月9日	県福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員・事務局紹介</li> <li>・ サービス評価について</li> <li>・ 『サービス評価事業の意義と活用』 関西福祉科学大学 大学院 教授 津田耕一氏</li> <li>・ 『昨年度を振り返って』 Office KURIHARA 栗原紀代美氏</li> <li>・ タイムスケジュールについて</li> </ul>	21 名

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前資料確認方法</li> <li>・ 報告書の作成について</li> <li>・ 委員の心得について</li> <li>・ 各職種別意見交換</li> </ul> 各評価項目確認について統一すべきポイント 実施視察において統一すべきポイント	
評価事業 実施施設	9月～2月	各実施施設	あしや喜楽苑・明石愛老園・ゆうらぎ・はなみずき サンウエスト・おかの花・栗栖の荘・楽々むら・かえで園 ななくさ白寿荘・なごみの里・夢御殿山・うおずみ 〔再評価施設〕 楽寿園・西長洲荘 (サービス評価実施報告書参照)	15 施設
総括会議	3月9日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成 23 年度サービス評価事業について ① 平成 23 年度サービス評価事業公表まとめ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特徴的なサービス事例</li> <li>・ 実施施設「良い現状」事例</li> <li>・ 実施施設全体の総評(班長)</li> </ul> ② 再評価実施施設のまとめ 2. その他	18 名
発行物	「サービス評価事業報告書ー平成 23 年度版ー」 (種別)冊子 750 部 (配布先)会員施設、関係団体、一般			

### ③ 拘束なき介護にむけての検討委員会

本年度は、平成 22 年度に実施した「高齢者虐待に関するアンケート調査」結果をもとに、「高齢者虐待」をテーマに事業を展開した。

特に職員研修会では、調査結果において「介護老人福祉施設において高齢者虐待が起りうる要因」として多くあげられた「職員の質・プロ意識の低さ」に焦点をあて、自身のケアを振り返る機会として開催し、公開シンポジウムでは、「高齢者虐待についての基礎知識」や「高齢者施設での不適切ケア」をテーマに、福祉関係者はもとより、広く県民とともに、利用者の人権を尊重した施設サービスについて共に考える機会として開催した。

また、平成 21～22 年度に開催した職員研修会で提出された参加施設での拘束なき介護にむけての取り組み実践を「拘束なき介護にむけての取り組み実践記録集」としてまとめ発行した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
拘束なき介護 にむけての 検討委員会 (8回)	6月6日	県福祉センター	<報告事項> 1. 平成 22 年度事業報告について 2. 活動報告書について <協議事項> 1. 本委員会のこれまでの事業経過について 2. 平成 23 年度事業の方向性について 3. その他	12 名
	7月13日	県福祉センター	<協議事項> 1. 事業スケジュールと役割分担について 2. 拘束なき介護にむけての取り組み実践集について 3. 高齢者虐待調査集計・分析について 4. 職員研修会について 5. その他	9 名

拘束なき介護にむけての検討委員会 (8回)	8月24日	県福祉センター	<協議事項> 1. 拘束なき介護にむけての取り組み実践集について 2. 高齢者虐待調査集計・分析について 3. 職員研修会について 4. シンポジウムについて 5. その他	10名
	9月30日	県福祉センター	<協議事項> 1. 拘束なき介護にむけての取り組み実践集について 2. 高齢者虐待調査集計・分析について 3. 職員研修会について 4. シンポジウムについて 5. その他	11名
	10月21日	県福祉センター	<協議事項> 1. 拘束なき介護にむけての取り組み実践集について 2. 高齢者虐待調査集計・分析について 3. 職員研修会について 4. シンポジウムについて 5. その他	8名
	12月2日	県福祉センター	<協議事項> 1. 職員研修会振り返りシートについて 2. シンポジウムについて 3. 拘束なき介護にむけての取り組み実践集について 4. 平成24年度事業計画について 5. その他	10名
	1月13日	県福祉センター	<協議事項> 1. 職員研修会振り返りシートについて 2. シンポジウムについて 3. 拘束なき介護にむけての取り組み実践集について 4. 平成24年度事業計画について 5. その他	8名
	3月14日	県福祉センター	<報告事項> 1. シンポジウムについて 2. 平成21～22年度職員研修会実践記録集について <協議事項> 1. 平成23年度事業を振り返って 2. 職員研修会振り返りシートについて 3. 平成24年度事業計画について 4. その他	10名
拘束なき介護にむけての職員研修会	11月22日	県福祉センター	<基調講演> 『その方らしく暮らし続けるための支援とは？ ～我々に求められるケアの質とは～』 社会福祉士・介護福祉士・ケアマネジャー 中田光彦氏 <報告> 『介護老人施設における高齢者虐待の実情について』 ～平成22年度高齢者虐待に関する アンケート調査結果をふまえて～ 神戸女学院大学 非常勤講師 峯本佳世子氏	115名

拘束なき介護にむけてのシンポジウム	2月10日	兵庫県民会館	<報告> 『介護老人福祉施設における高齢者虐待を考える ～現場からの発信～』 本会拘束なき介護にむけての検討委員会 石井智美氏 <講義> 『施設内虐待防止の視点』 特別養護老人ホームフィオーレ南海 施設長 柴尾慶次氏	176名
拘束なき介護にむけてのアドバイザー派遣事業	派遣なし			
発行物	「拘束なき介護にむけての取り組み実践記録集」 (種別)冊子 600部 (配布先)会員施設、関係団体			

#### ④ 調査研究委員会

本年度は、会員事業所におけるマンパワーの確保と取り組みの状況を調査し、現状の確認と今後の職員の確保及び定着についての事業所の戦略を見直す一助として、また会員事業所で働く職員の方々はもちろん、広く県民へ情報提供することを目的として本会ホームページ上に公開した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
調査研究委員会 (4回)	6月30日	県福祉センター	<報告事項> 1. 平成22年度事業報告について <協議事項> 1. 平成23年度事業計画について 2. 調査内容及びスケジュールについて 3. その他	6名
	9月22日	県福祉センター	<協議事項> 1. マンパワーの確保と定着率の調査について 2. その他	7名
	11月24日	県福祉センター	<協議事項> 1. マンパワーの確保と定着率の調査について 2. 平成24年度事業計画について 3. その他	8名
	2月13日	県福祉センター	<協議事項> 1. マンパワーの確保と定着率の調査について 2. 平成24年度調査項目・内容について 3. 平成24年度事業計画 4. その他	7名
調査結果	「マンパワーの確保と定着率に関する調査」 (種別)調査結果を本会ホームページにて公表 (公開先)会員事業所、関係団体、一般			

## ⑤ 編集委員会

会員施設が実施している事業やサービスの内容等を広く県民に情報発信するとともに、会員相互の情報や意見の交流を目的として機関紙「かけはし」を発行・配布し、併せてホームページ上に掲載した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
編集委員会 (3回)	7月12日	県福祉センター	<報告事項> 1. 平成22年度事業報告について <協議事項> 1. 平成23年度事業計画について 2. かけはし78号について 3. 平成23年度かけはしについて ① 内容について ② 発送先について 4. その他	9名
	11月9日	県福祉センター	<報告事項> 1. かけはし79号について <協議事項> 1. かけはし80号について 2. 平成24年度事業計画について 3. その他	7名
	2月17日	県福祉センター	<報告事項> 1. かけはし80号について <協議事項> 1. かけはし81号について 2. かけはしの出来るまで 3. その他	8名
発行物	「かけはし」78号・80号・81号(79号は号外) (種別)機関紙:各1,000部 (時期)7月・12月・3月 (配布先)会員施設、関係団体			

## ⑥ ケアプランリーダー養成・派遣事業委員会

本年度は、改訂版テキスト「介護老人福祉施設 包括的自立支援プログラム」をもとに、会員施設における「ケアプランの作成の理念」並びに「包括的自立支援プログラムの特長と作成手順」の理解を目的に、『ケアプラン基礎研修会(講義編)』を開催するとともに、「講義編」を踏まえ、各ブロックと連携して『ケアプラン基礎研修会(事例演習編)』を実施した。併せて各ブロック研修会への『講師派遣事業』を実施した。

また、ICFの概念に基づく包括的自立支援プログラムの展開の理解を目的にケアプラン研修会(ICF概念編)を実施した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
ケアプラン リーダー養成 ・派遣事業 委員会 (4回)	5月27日	県福祉センター	<報告事項> 1. 平成22年度事業報告について <協議事項> 1. 平成23年度事業スケジュールについて 2. ケアプラン基礎研修会(講義編)について 3. ケアプラン基礎研修会(事例演習編)共通事例について 4. その他	9名

	7月8日	県福祉センター	<協議事項> 1. ケアプラン基礎研修会(講義編)について 2. ケアプラン基礎研修会(事例演習編)共通事例について 3. ケアプラン研修会(ICF概念編)について 4. 各研修会共通事例について 5. その他	8名
	12月9日	県福祉センター	<協議事項> 1. ケアプラン基礎研修会(事例演習編)について 2. 平成24年度事業計画について 3. ケアプラン研修会(ICF概念編)について 4. テキスト字句訂正について 5. その他	8名
	3月16日	県福祉センター	<報告事項> 1. ケアプラン研修会(ICF概念編)について <協議事項> 1. 平成24年度事業計画について 2. 平成24年度研修用共通事例について 3. テキスト字句訂正について 4. その他	8名
ケアプラン基礎研修会(講義編)	9月7日	県福祉センター	講義①『ケアプラン作成の理念』 特別養護老人ホームフロイデ滝野 佐治真喜子氏 講義②『ケアプラン作成の基本と留意点 【包括的自立支援プログラムの特長と作成手順】』 特別養護老人ホームこぶし園 邊見豊氏 説明『共通事例概要・留意事項』 特別養護老人ホームフロイデ滝野 佐治真喜子氏	134名
※詳細は、平成23年度ブロック研修助成事業報告書参照				
ケアプラン基礎研修会(事例演習編)	ブロック	実施日	場所	参加人数
	阪神	10月20日	K-maisonときめき	15名
	東播磨	9月29日	小野市うるおい交流館エクラ	25名
	姫路	10月1日	姫路勤労市民会館	13名
	西播磨	11月11日	赤とんぼ荘	9名
	但馬	10月14日	但馬長寿の郷	18名
	丹波	10月13日	柏原住民センター	18名
	淡路	10月21日	洲本市健康福祉館	23名
ケアプラン研修会(ICF概念編)	1月27日	県福祉センター	講義『ICFの概念と“包括的自立支援プログラム(アセスメントツール)”について』 特別養護老人ホーム第二姫路・勝原ホーム 藤原重樹氏 共通事例演習	45名
委員派遣事業	9月29日	小野市うるおい交流館エクラ	<b>【東播磨ブロックケアプラン研修会】</b> 講義『共通事例を振り返って ケアプラン作成における留意点』 特別養護老人ホームこぶし園 施設長 邊見豊氏	
	10月13日	柏原住民センター	<b>【丹波ブロックケアプラン研修会】</b> 講義『ケアプラン作成の理念』 特別養護老人ホームこぶし園 施設長 邊見豊氏	



	1月20日	但馬長寿の郷	【但馬ブロックケアプラン研修会(応用編)】 『包括的自立支援プログラムの理念と作成手順について 自施設ケアプラン(事例)を通して』 特別養護老人ホームこぶし園 施設長 邊見豊氏
--	-------	--------	------------------------------------------------------------------------------------------------

## ⑦ 研修委員会

会員事業所のニーズに沿いながら、職員・施設長を対象にサービスの質の向上等、専門的かつ充実した内容の研修を企画開催した。

また11月11日「介護の日」に合わせ、広く県民を対象に福祉・介護に対する理解を一層深めることを目的にシンポジウムを開催した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
研修委員会 (4回)	6月15日	県福祉センター	<報告事項> 1. 平成22年度事業報告について <協議事項> 1. 平成23年度事業計画について 2. 年間スケジュールについて 3. 各種研修会について 4. その他	7名
	10月6日	県福祉センター	<報告事項> 1. 平成23年度職員研修会について <協議事項> 1. 介護の日シンポジウムについて 2. 施設長研修会について 3. その他	7名
	12月5日	県福祉センター	<報告事項> 1. 平成23年度 介護の日シンポジウムについて <協議事項> 1. 施設長研修会見積み合わせについて 2. 平成24年度事業計画について 3. その他	6名
	2月29日	県福祉センター	<協議事項> 1. 介護支援専門員受験準備講習会の方向性について 2. 平成24年度研修内容について 3. その他	7名
介護支援専門員受験準備講習会	8月6日 ～7日	県福祉センター	<b>【1日目(8月6日)】</b> 『介護保険制度と介護支援』 京都市嵐山地域包括支援センター センター長 真辺一範氏 <b>【2日目(8月7日)】</b> 『介護保険サービス』 本多聞高齢者介護支援センター 主任ケアマネジャー 友清正雄氏 『高齢者保健医療・福祉の基礎知識①』 西江井島病院 院長 藤原仁志氏 『高齢者保健医療・福祉の基礎知識②』 長田ケアホーム 施設長 山内賢治氏	総数 69名 (会員58名、 非会員11名)

職員研修会	9月28日	県福祉センター	講義『口腔ケアの基礎知識と最新情報』 兵庫医科大学歯科口腔外科学 准教授 岸本裕充氏	68名
介護の日 シンポジウム	11月4日	兵庫県農業会館	講演①「認知症高齢者を支えるために」 姫路獨協大学医療保健学部作業療法学科 教授 横井賀津志氏 講演②「支える側が支えられるとき ～認知症の母が教えてくれたこと～」 詩人・児童文学作家 藤川幸之助氏	209名
施設長 研修会	2月28日 ～29日	淡路夢舞台 国際会議場 &ウエスティン ホテル淡路	【1日目(2月28日)】 〈基調報告〉 (社)兵庫県老人福祉事業協会 会長 石田文徳氏 〈行政説明〉 『平成24年度介護報酬改定について』 厚生労働省老健局老人保健課 課長補佐 日野原友佳子氏 〈講演〉 『介護保険制度 今後の展望』 淑徳大学総合福祉学部准教授 結城康博氏 【2日目(2月29日)】 『青年部会 東日本大震災被災地視察報告』 (社)兵庫県老人福祉事業協会 青年部会 部会長 三木啓康氏 〈講演〉 『東日本大震災と施設運営について』 特別養護老人ホーム赤井江マリンホーム 施設長 小助川進氏	109名

### ⑧ 養護部会

本年度は、利用者が自立した日常生活を営み、社会的活動に積極的に参加し充実した生活を実現する為、ソーシャルワークを踏まえた養護老人ホーム本来の役割・機能について検討するとともに、特定施設や個別契約型等の養護老人ホームでの利用者主体の質の高いケアの実現に向け委員会・研修会を開催した。また、調査研究事業として施設運営の課題についての調査研究を行った。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
養護部会 (3回)	6月13日	県福祉センター	〈報告事項〉 1. 全国老施協養護部会報告 2. 近畿老施協養護部会報告 〈協議事項〉 1. 平成23年度事業計画について 2. 平成24年度予算対策について 3. その他	5名

	9月2日	県福祉センター	<報告事項> 1. 全国老施協養護部会報告 2. 近畿老施協養護部会報告 <協議事項> 1. 平成 23 年度事業について 調査について 研修会の開催について 2. その他	4名
	1月5日	県福祉センター	<報告事項> 1. 全国老施協養護部会報告 2. 近畿老施協養護部会報告 <協議事項> 1. 養護部会施設長研修会 2. 平成 24 年度事業計画について 3. その他	4名
新型養護ケアプラン(パッケージプラン)研修会	10月27日	県福祉センター	講義 『養護老人ホームパッケージプランについて』 養護老人ホーム聖ヨゼフ・ホーム 施設長 平岡毅氏	32名
職員研修会	9月27日	県福祉センター	講義 『養護老人ホームのサービスと職員間の連携のあり方』 養護老人ホーム聖ヨゼフ・ホーム 施設長 平岡毅氏	41名
施設長研修会	1月12日	県福祉センター	講義 『監査指導結果について』 兵庫県健康福祉部高齢社会課係 係長 向田憲司氏 報告 『養護部会報告』 講義 『養護老人ホーム現状と今後の方向性』 養護老人ホーム丸山 施設長 阿比留志郎氏	26名

### ⑨ 軽費・ケアハウス部会

職員研修会及び施設長研修会を実施するとともに、特に本年度は各会員施設が共存共栄していくために、各施設の現状と課題・それに対する取組を共有できるように「会員ケアハウス一覧～取組事例集添付～」を作成配布し、資質向上のための学びと情報交換の機会を提供した。

軽費老人ホーム事務費補助金の一般財源化に伴う予算確保については、引き続き予算要望を行った。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
軽費・ケアハウス部会(3回)	6月2日	県福祉センター	<報告事項> 1. 平成 22 年度事業報告について <協議事項> 1. 平成 23 年度事業計画について 2. 平成 24 年度予算要望について 3. 各種研修会について 4. 軽費・ケアハウス事例集の作成について 5. 近老協和歌山大会 事例発表者について 6. その他	5名

	8月3日	県福祉センター	<報告事項> 1. 平成 23 年度予算要望について 2. 平成 23 年度職員研修会について <協議事項> 1. 平成 23 年度施設長研修会について 2. 軽費・ケアハウス事例集の作成について 3. その他	5名
	10月26日	県福祉センター	<報告事項> 1. 職員研修会について <協議事項> 1. 平成 23 年度 施設長研修会について 2. 軽費・ケアハウス事例集の作成について 3. 平成 24 年度事業計画について	5名
職員研修会	9月26日	県福祉センター	講義 『高齢者施設における、園芸療法の取り組みとその効果』 兵庫県立淡路景観園芸学校 主任景観園芸専門員 豊田正博氏	34名
施設長研修会	12月13日	県福祉センター	『軽費・ケアハウスを取り巻く現状 ～介護保険制度の動向等～』 厚生労働省老健局高齢支援課 課長補佐 家田康典氏 「会員ケアハウス一覧～取組事例集添付～」の活用方法についての説明	29名
発行物	「会員ケアハウス一覧～取組事例集添付～」 (種別)冊子 100部 (配布先)本会会員施設			

## ⑩ デイ部会

本年度は、会員事業所の意向調査を実施し、兵庫県あて予算要望並びに介護報酬改定にむけての要望事項を取りまとめ、国・県へ要望を実施した。

また、部会企画の研修会については、「今後デイサービスセンターに求められるニーズ」をテーマに各種研修会を開催した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
デイ部会 (3回)	5月13日	県福祉センター	<報告事項> 1. 平成 22 年度事業報告について <協議事項> 1. 平成 23 年度事業スケジュールについて 2. 各種研修会について 3. 平成 24 年度予算要望について 4. その他	5名
	7月20日	県福祉センター	<報告事項> 1. 一般社団法人移行に伴う役員選任等の結果について <協議事項> 1. 職員研修会について 2. リーダー養成研修会について 3. 施設長研修会について 4. 平成 24 年度予算要望について	5名

	12月12日	県福祉センター	<報告事項> 1. 次期介護報酬改定に向けての要望及び提言について <協議事項> 1. 施設長研修会について 2. 平成24年度事業計画について 3. その他	4名
職員研修会 (2回)	8月19日	神戸学院大学 有瀬キャンパス	講義① 『ケアの視点・展開を考える前に ～普通であることの大切さを考えてみよう～』 神戸学院大学総合リハビリテーション学部 医療リハビリテーション学科 教授 備酒伸彦氏	71名
	9月9日		講義② 『トランスファーから考える 安定の確保から安心の提供へ』 生き活きサポートセンターうえるば高知 代表 理学療法士 下元佳子氏 京阪ライフサポート株式会社 ケア事業部長 理学療法士 眞藤英恵氏	66名
リーダー養成 研修会	12月12日	県福祉センター	講義 『介護リーダーの仕事術 ～介護リーダーが知っておくべき基礎知識～』 メディックプランニング 代表 三好貴之氏	78名
施設長 研修会	2月9日	県福祉センター	講義 『デイサービスセンターの今後の運営、 経営の展望』 エイデル研究所 経営支援・人材育成統轄部部長 小林雄二郎氏	76名

## 2. 情報発信事業

本会において実施している事業並びに県内の老人ホーム等が実施している事業やサービス内容等を会員施設及び広く県民に情報発信することを目的に、下記報告書等を発行するとともに、本会ホームページ上で公開した。

事業名	時期	配布先	内容	部数
かけはし	7月・12月 3月	会員施設 関係団体	かけはし 78号～81号(79号は号外)を発行し、会員施設並びに関係団体へ配布し、併せてホームページ上に掲載した。	各1,000部
マンパワーの 確保と定着 率に関する 調査	3月	会員施設 関係団体	会員事業所におけるマンパワーの確保と取り組みの状況を調査し、現状の確認と今後の職員の確保及び定着についての事業所の戦略を見直す一助として、また広く県民への情報提供として本会ホームページ上に公開した。	ホーム ページ
サービス評価 事業報告書	年1回	会員施設 関係団体	自己評価支援を行った13施設と再評価2施設の客観的な評価結果を報告書にまとめ、広く会員施設並びに関係団体、一般に配布した。	750部
拘束なき介護 にむけて取り 組み実践 記録集	年1回	会員施設 関係団体	平成21～22年度に開催した職員研修会で提出された参加施設での拘束なき介護にむけての取り組み実践を「拘束なき介護にむけての取り組み実践記録集」としてまとめ発行した。	600部

会員ケアハウス一覧	12月	会員施設	各会員施設が共存共栄していくために、各施設の現状と課題・それに対する取組を共有できるように「会員ケアハウス一覧～取組事例集添付～」を作成配布した。	100部
情報発信事業	随時	本会ホームページ	本会ホームページにおいて会員施設に各種情報を提供するとともに、本会の事業内容や会員施設の情報等を広く県民に提供した。	随時

### 3. 国・県への政策提言・関係諸団体との連絡事業

行政・各関係団体との連携を図るとともに、予算対策活動を実施した。

事業名	実施日	提出先	事業内容	参加人数
国・県予算対策事業 (要望書の提出)	7月26日	公明党県連	公明党県連に対し、老人福祉施設の積極的な整備の推進など、平成24年度予算に向け要望を行った。	1名
	9月13日	自由民主党県連	自由民主党県連に対し、老人福祉施設の積極的な整備の推進など、平成24年度予算に向け要望を行った。	2名
	9月13日	県庁	兵庫県に対し、老人福祉施設の積極的な整備の促進など平成24年度予算に向け要望を行った。	11名
	9月15日	県議会	兵庫県議会に対し、老人福祉施設の積極的な整備の促進など平成24年度予算に向け要望を行った。	8名
要望書に対する報告会	2月14日	県庁	平成24年度予算要望について兵庫県より報告を受けるとともに意見交換を行った。	8名
	3月16日	自由民主党県連	自由民主党県連より平成24年度政策要望に係る報告を受けるとともに意見交換を行った。	2名
次期介護報酬改定に向けての要望及び提言	11月8日	厚生労働省 関係国会議員	『次期介護報酬改定に向けての要望及び提言』 (接見した方) 厚生労働省老健局関係各課 自由民主党副総裁 大島理森氏 衆議院議員 谷公一氏 衆議院議員 西村康稔氏 参議員議院 末松信介氏 他3人 (要望書提出) 厚生労働大臣 小宮山洋子氏 他多数 ※かけはし79号 号外により状況報告	10名

### 4. その他の事業

#### ① 表彰・感謝事業

県内の各事業所に従事する職員等で、事業所に10年以上勤務し顕著な功績のあった者等に対して、本会総会において表彰し、感謝の意を表した。

事業名	実施日	場所	事業内容
表彰 感謝	6月28日	ホテル北野プラザ 六甲荘	10年勤続職員 138名 理事の退任:安田俊吉氏、森上淑美氏 監事の退任:西山茂夫氏 退職施設長:山野恵男氏、上野侃氏、小林茂氏

## ② ブロック助成事業

各ブロックにおけるケアプラン等の研修実施に対し、本会からブロック研修助成金を交付した。  
(平成 23 年度ブロック研修助成事業報告書参照)

## ③ 青年部会運営助成事業

社会福祉法人や老人福祉施設の次代を担う人材を育成することを目的に設置された青年部会の事業推進に対し、本会から事業助成金を交付した。  
(平成 23 年度青年部会運営助成事業報告書参照)

## ④ 高齢者福祉事業に関する連絡調整事業

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
近畿老人福祉施設研究協議会《和歌山大会》への参加	7月14日 ～15日	紀南文化会館 他	<b>【1日目】〔全体会〕</b> ＜情勢報告＞ 『日本再生なるか…21世紀社会保障戦略の中で、 私たちはどう生きる』 公益社団法人全国老人福祉施設協議会 会 長 中田 清氏 ＜記念講演1＞ 『戦国武将の脳』 公立大学法人和歌山県立医科大学 理事長・学 長 板倉徹氏 ＜記念講演2＞ 『食の楽しさ』 がんこフードサービス創始者 会長 小嶋淳司氏 <b>【2日目】〔分科会〕</b>	26名
全国老人福祉施設研究会議《岡山会議》への参加	10月4日 ～5日	岡山県 総合グラウンド 体育館	<b>【1日目】〔全体会〕</b> ＜基調報告＞ 『絆の老施協！創ろう科学的介護、新たな福祉』 公益社団法人全国老人福祉施設協議会 会 長 中田 清氏 ＜情勢報告＞ 『日本再興・2020年日本の社会保障制度は』 全国老施協常任顧問・参議院議員 中村博彦氏 ＜講 演＞ 『科学的介護のすすめ ～エビデンスに基づく介護実践』 国際医療福祉大学大学院 教授 竹内孝仁氏 ＜記念講演＞ 『心豊かに生きる』 ノートルダム清心学園 理事長 渡辺和子氏 <b>【2日目】〔分科会〕</b>	61名

<p>全国老人 福祉施設大会 《高知大会》 への参加</p>	<p>11月8日 ～10日</p>	<p>高知県立 県民文化ホール 他</p>	<p>【1日目】〔開会式、全体会〕      &lt;講演Ⅰ&gt;      『介護保険制度の課題』      厚生労働省 老健局長 宮島俊彦氏      &lt;基調報告&gt;      『絆の老施協！創ろう科学的介護、新たな福祉』      公益社団法人全国老人福祉施設協議会      会長 中田清氏      &lt;記念講演&gt;      『龍馬伝が残したもの～絆ぜよ～』      高知県立坂本龍馬記念館 館長 森健志郎氏      &lt;課題提起&gt;      『日本再興・2020年日本の社会保障制度は』      全国老施協常任顧問・参議院議員 中村博彦氏      【2日目】〔分科会〕      【3日目】〔全体会・閉会式〕      &lt;現場報告&gt;      『東日本大震災から学ぶもの・・・』      『その時、何ができて、何ができなかったか      ……緊急時の課題』      ① 地域住民の受入れ、簡易要介護認定・・・等      ② 要介護者の緊急受け入れ      ③ 災害時の避難経路の教訓      ④ 緊急避難と「移送リスク」・・・目に見えない恐怖との戦い      ⑤ 復興への歩み・・・臨時施設の確保      『復興に向けて』</p>	<p>36名</p>
<p>近畿老人福祉 施設協議会 施設長研修会 への参加</p>	<p>1月26日 ～27日</p>	<p>大津 プリンスホテル</p>	<p>【1日目】〔開会式、講演〕      &lt;講演Ⅰ&gt;      『改正介護保険制度について』      厚生労働省 老健局 高齢者支援課      課長補佐 家田康典氏      &lt;講演Ⅱ&gt;      『改正介護保険制度を検証する』      特別養護老人ホーム 緑風園      総合施設長 菊池雅洋氏      【2日目】〔講演〕      &lt;講演Ⅲ&gt;      『非営利組織におけるトップマネジメントの役割』      日本ドラッカー学会理事 代表代行 藤島秀記氏</p>	<p>37名</p>



## ⑤ 災害支援・義援金活動

平成 23 年3月 11 日に発生した「東日本大震災」、9月の台風 12 号の被害状況に鑑み、会員事業所に対し義援金を募集し被災施設等の支援を行った。

事業名	日時	内容
東日本大震災義援金募集活動	3月 14 日～5月 31 日	「東日本大震災義援金」の募集を会員事業所を対象に実施し、平成 22 年度に引き続き募集を行った。 被災地を訪問し、会員事業所、利用者の方等から寄せられた義援金を東北ブロック老人福祉施設協議会へ贈呈した。 4月 18 日贈呈 7,540,884 円 7月 25 日贈呈 2,075,917 円、本会からの義援金 75,000 円 合計 9,691,801 円
台風 12 号義援金募集活動	9月 22 日～10月 7 日	「台風 12 号義援金」の募集を会員事業所を対象に実施した。 会員事業所、利用者の方等から寄せられた義援金と本会義援金を近畿老人福祉施設協議会へ贈呈した。 会員事業所 1,840,000 円、本会からの義援金 75,000 円 合計 1,915,000 円
義援金・見舞金の贈呈	12 月 1 日	「台風 12 号災害」に対し、近畿老人福祉施設協議会義援金・本会災害見舞金内規に基づく見舞金を贈呈した。 義援金 栗生逢花苑 1,780,794 円 のじぎくの里 197,865 円 見舞金 栗生逢花苑 50,000 円 合計 2,028,659 円

## ⑥ 特別養護老人ホームにおける看護職員と介護職員による連携協働のための研修会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
特別養護老人ホームにおける看護職員と介護職員による連携協働のための研修会 打ち合わせ	11 月 16 日	県福祉センター	<協議事項> 1. 研修会趣旨について 2. 研修会プログラム構成について 3. 研修会講師担当割について 4. 研修会講義レジメについて 5. その他	7名
特別養護老人ホームにおける看護職員と介護職員による連携協働のための研修会	12 月 23 日 ～24 日	県福祉センター	【1日目】(12 月 23 日) 講義『特別養護老人ホームにおける看護職員と介護職員による連携協働の在り方』 兵庫県健康福祉部社会福祉局高齢社会課 係長 向田憲司氏 講義『高齢者及び医療的ケアに関する倫理、法規及び他職種連携』 特別養護老人ホーム 翁 寿 園 福原幸子氏 講義『利用者への適切なケアを提供するための具体的な取り組み』 特別養護老人ホームいくの喜楽園 山元むつみ氏	116 名

			講義『心身機能の加齢性変化と日常生活への影響』 『呼吸器のしくみと働き』 『喀痰を生じる疾患や病態』 『口腔内吸引の技術及び関連するケア』 演習『口腔内吸引の技術及び関連するケアの指導』 特別養護老人ホーム 緑風の郷 奥奈保美氏 <b>【2日目】(12月24日)</b> 講義『研修における人材育成』 特別養護老人ホーム 名塩さくら苑 市川純子氏 講義『消化器系のしくみと働き』 『経管栄養が必要となる疾患や病態』 『経管栄養の技術及び関連するケア』 演習『胃ろうによる経管栄養の技術及び関連するケアの指導』 特別養護老人ホーム清華苑 小村一左美氏 特別養護老人ホームサルビア荘 高本恵美氏 講義『安全管理体制とリスクマネジメント』 特別養護老人ホーム清華苑 小村一左美氏	
--	--	--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

## 5. 法人運営

法人の運営について協議するため開催した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
第19回 総会	6月28日	ホテル北野プラザ 六甲荘	<議案事項> 第1号議案 平成22年度事業報告(案) 第2号議案 平成22年度収支決算(案) 第3号議案 一般社団法人への移行(案) 第4号議案 一般社団法人への移行に伴う定款の変更(案) 第5号議案 一般社団法人への移行に伴う役員選任(案) その他事項 表彰及び感謝	出席会員数 254名 (内、委任状152名、 書面出席1名)
第20回 総会	3月23日	県福祉センター	<議案事項> 第1号議案 平成23年度事業計画の一部変更(案) 第2号議案 平成23年度第1次収支補正予算(案) 第3号議案 財政基金積立預金の一般社団法人移行に伴う取崩しと実施事業等会計への繰入(案) 第4号議案 平成24年度事業計画(案) 第5号議案 平成24年度収支予算(案) 第6号議案 一般社団法人移行に伴う経理規程の変更(案) <報告事項> 一般社団法人への移行に伴う規程変更	出席会員数 232名 (内、委任状25名、 書面出席147名)
第1回 理事会	6月10日	ホテル北野プラザ 六甲荘	<議案事項> 1. 平成22年度事業報告(案) 2. 平成22年度収支決算(案) 3. 一般社団法人への移行(案) 4. 一般社団法人への移行に伴う定款の変更(案) 5. 一般社団法人への移行に伴う役員選任(案) 6. 新規入会事業所(案) 7. 総会の開催について(案) 8. 表彰・感謝候補者(案)	出席者 理事16名 監事2名 (内、委任状1名)

			<p>&lt;報告事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成 23 年度県老施協事務局 分担表、他団体等役職一覧</li> <li>2. 他団体の役割分担について</li> <li>3. 退会事業所について</li> <li>4. 東日本大震災について</li> </ol>	
第 2 回 理事会	3月6日	ホテル北野プラザ 六甲荘	<p>&lt;報告事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 一般社団法人への移行について</li> </ol> <p>&lt;議案事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成 23 年度事業計画の一部変更(案)</li> <li>2. 平成 23 年度第1次収支補正予算(案)</li> <li>3. 財政基金積立預金の一般社団法人移行に伴う取崩しと実施事業等会計への繰入(案)</li> <li>4. 平成 24 年度事業計画(案)</li> <li>5. 平成 24 年度収支予算(案)</li> <li>6. 一般社団法人移行に伴う規程変更(案)</li> <li>7. 総会の開催(案)</li> <li>8. 新規入会事業所(案)</li> <li>9. その他</li> </ol>	出席者 理事 16 名 監事 2 名
監事監査	5月 23 日	県福祉センター	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成 22 年度事業報告(案)</li> <li>2. 平成 22 年度収支決算(案)</li> </ol>	3名
第 1 回 正副会長会議	4月 7 日	県福祉センター	<p>&lt;協議事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 東北地方太平洋沖地震について <ul style="list-style-type: none"> <li>・県より報告(被災要援護者の受入等について)</li> <li>・義援金について</li> </ul> <p>159 件 7,048,744 円 (平成 23 年3月 31 日現在)</p> <p>3 件 132,875 円 (平成 23 年4月 1 日以降予定を含む)</p> </li> <li>2. 平成 23 年度部会・委員会構成・役割分担について</li> <li>3. 他団体の役割分担について <ul style="list-style-type: none"> <li>・役員推薦</li> </ul> </li> <li>4. 事業の進め方について</li> <li>5. 給与規程(通勤手当)について</li> <li>6. 県受託事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・LSA 活動強化事業</li> <li>・潜在的有資格者等養成支援事業(キャリアアップ研修)</li> <li>・介護保険施設職員等人材確保支援事業・介護雇用プログラム事業・正規雇用に係る一時金</li> <li>・福祉・介護サービス啓発事業</li> <li>・安心ほっとダイヤル</li> </ul> </li> <li>7. その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 19 回総会について</li> <li>・株式会社トヨタレンタリース兵庫からの車椅子寄贈について</li> </ul> </li> </ol>	7名

第2回 正副会長会議	5月17日	県福祉センター	<p>&lt;協議事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>東北地方太平洋沖地震について <ul style="list-style-type: none"> <li>義援金贈呈報告 7,540,884円(平成23年4月14日まで入金分)</li> <li>義援金について 1,388,654円(平成23年5月13日現在)</li> </ul> </li> <li>総合計 8,929,538円 (平成23年5月13日現在)</li> <li>平成22年度事業報告(案)</li> <li>平成22年度収支決算(案)</li> <li>平成23年度事業計画の一部変更(案) 平成23年度第一次収支補正予算(案)</li> <li>一般社団法人への移行(案) <ul style="list-style-type: none"> <li>「移行について」</li> <li>「定款の全面改正案」</li> </ul> </li> <li>本会入会事業所(案)</li> <li>運営委員会(部会長・委員長会議)・理事会・総会の開催(案)</li> <li>表彰・感謝(案)</li> <li>旅費規程について</li> <li>その他</li> </ol>	7名
第3回 正副会長会議	7月5日	県福祉センター	<p>&lt;協議事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>一般社団法人移行について 公益目的支出計画について</li> <li>予算要望について</li> <li>その他(東日本大震災被災地調査について)</li> </ol>	7名
第4回 正副会長会議	7月22日	県福祉センター	<p>&lt;協議事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>一般社団法人移行について <ol style="list-style-type: none"> <li>公益目的支出計画事業</li> <li>研修事業等公益目的支出計画事業の周知方法</li> </ol> </li> <li>予算要望について</li> <li>本会入会促進について</li> <li>東日本大震災被災地視察 <ol style="list-style-type: none"> <li>義援金総額 9,691,801円 (2回目送金 7/25 2,150,917円)</li> </ol> </li> <li>県受託事業等</li> <li>その他</li> </ol>	5名
第5回 正副会長会議	8月18日	県福祉センター	<p>&lt;協議事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>一般社団法人移行について <ol style="list-style-type: none"> <li>仮申請資料について</li> <li>研修事業等公益目的支出計画事業について</li> </ol> </li> <li>予算要望について</li> <li>県受託事業等</li> <li>その他</li> </ol> <p>&lt;報告事項&gt;</p> <p>介護の日シンポジウム 東日本大震災被災地報告</p>	4名
第6回 正副会長会議	9月20日	県福祉センター	<p>&lt;協議事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>一般社団法人について <ul style="list-style-type: none"> <li>変更が必要なもの(定款変更に伴う条項変更、</li> </ul> </li> </ol>	6名

			名称変更) ・定款施行細則、経理規程、就業規則、育児・介護休業規程、役職員慶弔規程、運営委員会内規、役員推薦内規、顕彰内規、会費内規、災害見舞金内規、個人情報保護規程、青年部会運営助成金交付内規(12) 2. 県受託事業 3. 平成 24 年度介護報酬改定について 4. その他 <報告事項> 東日本大震災被災地報告 台風 12 号災害被災状況(本会会員施設)	
第 7 回 正副会長会議	10 月 17 日	県福祉センター	<協議事項> 1. 介護職員等によるたんの吸引等について 2. 台風 12 号義援金について 義援金 1,840,000 円(10/14 入金済) 3. 平成 24 年度介護報酬改定について <調整内容> 11月8日・9日 幹事長 石原伸晃氏 衆議院厚生労働委員会理事 田村憲久氏 衆議院厚生労働委員会委員 衛藤晟一氏 4. 一般社団法人への移行について ・諸規程変更 5. 県受託事業等 6. その他 基準の条例化 地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備等に関する省令について	7名
第 8 回 正副会長会議	11 月 15 日	県福祉センター	<協議事項> 1. 台風 12 号義援金について 2. 地域主権改革推進一括法に係る高齢者施設又はサービス等の設置管理基準案について 3. 県受託事業 4. その他 ・木下大サーカス招待券(200 枚)について ・かけはし号外の発行について ・青年部会 大規模災害時における緊急対応マニュアル ・たんの吸引等の取扱いについて 11/7説明会 参加施設 163(人数 168 名) ・特養における看護・介護職員による連携協働のための研修会参加状況 ・平成 23 年度 NHK 歳末たすけあい義援金受配要望書 <報告事項> 「介護報酬の地域区分の見直し」行政対応	7名

第9回 正副会長会議	1月10日	県福祉センター	<p>&lt;協議事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 今後の役員会・総会予定について</li> <li>2. 一般社団法人移行に伴う予算・決算処理について</li> <li>3. 県受託事業</li> <li>4. 新規入会事業所促進</li> <li>5. 会費未納事業所</li> <li>6. 事業計画について 介護保険推進委員会 研修のあり方(ケアプランリーダー養成派遣事業委員会・研修委員会)</li> <li>7. 法人運営等に係る事業</li> <li>8. その他</li> </ol>	7名
第10回 正副会長会議	2月14日	県福祉センター	<p>&lt;依頼事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 24年度新規県受託事業について (県高齢社会課福田副課長・福祉法人課より)</li> </ol> <p>&lt;協議事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成23年度事業計画の一部変更(案)</li> <li>2. 平成23年度第1次収支補正予算(案)</li> <li>3. 財政基金積立預金を一般社団法人移行に伴い 取崩し実施事業等会計への資金繰入(案)</li> <li>4. 平成24年度事業計画(案)</li> <li>5. 平成24年度収支予算(案)</li> <li>6. 一般社団法人移行に伴う規程変更(案) (経理規程・財政基金運用内規・就業規程)</li> <li>7. 運営委員会・理事会・総会の開催(案)</li> <li>8. 新規入会事業所(案)</li> <li>9. 県受託事業について</li> <li>10. その他</li> </ol>	7名
第1回 正副会長・ ブロック会議	6月7日	県福祉センター	<p>&lt;協議事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 一般社団法人移行について</li> </ol>	12名
第1回 運営委員会	6月1日	県福祉センター	<p>&lt;協議事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成22年度事業報告(案)</li> <li>2. 平成22年度収支決算(案)</li> <li>3. 一般社団法人への移行(案) ・「移行について」 ・「定款の全面改正案」</li> <li>4. 本会入会事業所(案)</li> <li>5. 理事会・総会の開催(案)</li> <li>6. 表彰・感謝(案)</li> <li>7. 平成23年度部会・委員会構成・役割分担について</li> <li>8. 事業の進め方について</li> <li>9. その他</li> </ol> <p>&lt;報告事項&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 他団体の役割分担について</li> <li>2. 退会事業所について</li> <li>3. 東日本大震災について</li> <li>4. ブロック・委員会報告</li> </ol>	28名

第2回 運営委員会	2月24日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成23年度事業計画の一部変更(案) 2. 平成23年度第1次収支補正予算(案) 3. 財政基金積立預金の一般社団法人移行に伴う取崩しと実施事業等会計への繰入(案) 4. 平成24年度事業計画(案) 5. 平成24年度収支予算(案) 6. 一般社団法人移行に伴う規程変更(案) 7. 理事会・総会の開催(案) 8. 新規入会事業所(案) 9. その他 <報告事項> 1. 一般社団法人への移行について 2. 委員会・ブロック報告	24名
老人福祉法 制定50周年 記念誌作成 委員会 (3回)	1月10日	県福祉センター	<協議事項> 1. 記念誌作成にあたって ・編集内容について ・作成スケジュールについて ・配布先について 2. その他	6名
	2月17日	県福祉センター	<協議事項> 1. 委託業者 2. 年表の確認 3. 内容の構成について	4名
	3月9日	県福祉センター	<協議事項> 1. 年表の確認 2. 記念誌の構成について 3. その他	4名

## 6.受託事業等

### ① LSA活動強化事業(受託事業)

LSAの活動を支援することにより、シルバーハウジング等に入居している高齢者の介護予防・生活支援に資するため、専門相談会及び研修・交流会を開催した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
委員会 (2回)	6月14日	県福祉センター	<報告事項> 1. 平成22年度事業報告について 2. 平成23年度LSA活動強化事業について <協議事項> 1. 平成23年度事業スケジュールについて ① 委員会開催について ② LSA専門相談会について ③ LSA研修会について 2. 平成24年度予算要望について 3. LSA連絡会より 4. その他	7名
	10月24日	県福祉センター	<報告事項> 1. 第1回～第3回LSA専門相談会について 2. 第1回LSA研修会について 3. 平成24年度予算要望について	6名

### 専門相談会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
専門相談会 (4回)	8月23日	県福祉センター	テーマ『LSA基礎研修～日々のLSA事業を通して～』 財団法人芦屋ハートフル公社 LSA 佐治雅子氏 社会福祉法人友朋会 清和苑ゆうホーム LSA 川崎康太郎氏	50名 (内LSA 32名)
	10月15日	県福祉センター	テーマ『高齢者に関わる上で必要な医療知識② ～糖尿病とその合併症について～』 相談員 特別養護老人ホーム精華苑 看護介護養育長 小村一左美氏	27名 (内LSA 19名)
	11月5日	県福祉センター	テーマ『アルコール依存症の基礎知識と その対応方法』 相談員 精神保健福祉士 藤田修美氏	30名 (内LSA 18名)
	1月25日	県福祉センター	テーマ『生活保護制度の基礎知識』 相談員 尼崎市福祉事務所 保護面接相談 担当課長 宿信義氏	43名 (内LSA 20名)



研修会・交流会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
研修会 (2回)	9月29日	県福祉センター	講義・演習 「対人援助職の基本的知識と技術」① 講師:兵庫県対人援助研究所 主宰 稲松真人氏 講義・演習 「対人援助職の基本的知識と技術」② 講師:兵庫県対人援助研究所 主宰 稲松真人氏	40名 (内LSA 23名)
	3月19日	県福祉センター	事例発表 「大規模災害発生後の高齢者見守り支援について」 社会福祉法人きらくえん南芦屋浜シルバーハウジング LSA 主任 城戸昌子氏 社会福祉法人長岡福祉協会ケアプランセンター上除 業務課長 佐藤佳代氏 社会福祉法人春圃会在宅介護支援センター 管理者 菅野久美氏 座談会『今後、地域における見守り支援やサポート体制のあり方～大規模災害に備えて～』 【座談会メンバー】 社会福祉法人きらくえん南芦屋浜シルバーハウジング LSA 主任 城戸昌子氏 社会福祉法人長岡福祉協会ケアプランセンター上除 業務課長 佐藤佳代氏 社会福祉法人春圃会在宅介護支援センター 管理者 菅野久美氏 【コーディネーター】 社会福祉法人阪神共同福祉会 理事長 中村大蔵氏	47名 (内LSA 32名)

② 潜在的有資格者等養成支援事業(補助事業)

福祉人材確保対策事業の一環として、老人福祉施設・事業所の福祉・介護従事者のキャリアアップを支援するための県の助成制度(補助)を利用して下記研修会を実施した。

[以下再掲]

ケアプラン基礎研修会(講義編)

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
ケアプラン 基礎研修会 (講義編)	9月7日	県福祉センター	講義①『ケアプラン作成の理念』 特別養護老人ホームフロイデ滝野 佐治真喜子氏 講義②『ケアプラン作成の基本と留意点 【包括的自立支援プログラムの特長と作成手順】』 特別養護老人ホームこぶし園 邊見豊氏 説明『共通事例概要・留意事項』 特別養護老人ホームフロイデ滝野 佐治真喜子氏	134名

ケアプラン研修会(ICF概念編)

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
ケアプラン 研修会 (ICF概念編)	1月27日	県福祉センター	講義『ICFの概念と“包括的自立支援プログラム (アセスメントツール)”について』 特別養護老人ホーム第二姫路・勝原ホーム 藤原重樹氏 共通事例演習	45名

デイ部会 職員研修会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
職員 研修会 (2回)	8月19日	神戸学院大学 有瀬キャンパス	講義① 『ケアの視点・展開を考える前に ～普通であることの大切さを考えてみよう～』 神戸学院大学総合リハビリテーション学部 医療リハビリテーション学科 教授 備酒伸彦氏	71名
	9月9日		講義② 『トランスファーから考える 安定の確保から安心の提供へ』 生き活きサポートセンターうえるば高知 代表 理学療法士 下元佳子氏 京阪ライフサポート株式会社 ケア事業部長 理学療法士 眞藤英恵氏	66名

デイ部会 リーダー養成研修会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
リーダー養成 研修会	12月12日	県福祉センター	講義『介護リーダーの仕事術 ～介護リーダーが知っておくべき基礎知識～』 メディックプランニング 代表 三好貴之氏	78名

デイ部会 施設長研修会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
施設長 研修会	2月9日	県福祉センター	講義『デイサービスセンターの今後の運営、 経営の展望』 エイデル研究所 経営支援・人材育成統轄部部長 小林雄二郎氏	76名

拘束なき介護にむけて職員研修会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
拘束なき介護 にむけての 職員研修会	11月22日	県福祉センター	<基調講演> 『その方らしく働き続けるための支援とは？ ～我々に求められるケアの質とは～』 社会福祉士・介護福祉士・ケアマネジャー中田光彦氏 <報告> 『介護老人施設における高齢者虐待の実情について』 ～平成22年度高齢者虐待に関する アンケート調査結果をふまえて～ 神戸女学院大学 非常勤講師 峯本佳世子氏	115名

介護支援専門員受験準備講習会スキルアップ向上研修

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
介護支援専門員受験準備講習会	8月6日 ～7日	県福祉センター	<b>【1日目(8月6日)】</b> 『介護保険制度と介護支援』 京都市嵐山地域包括支援センター センター長 真辺一範氏 <b>【2日目(8月7日)】</b> 『介護保険サービス』 本多聞高齢者介護支援センター 主任ケアマネジャー 友清正雄氏 『高齢者保健医療・福祉の基礎知識①』 西江井島病院 院長 藤原仁志氏 『高齢者保健医療・福祉の基礎知識②』 長田ケアホーム 施設長 山内賢治氏	総数 69名 (会員58名、 非会員11名)

研修委員会職員研修会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
職員研修会	9月28日	県福祉センター	講義『口腔ケアの基礎知識と最新情報』 兵庫医科大学歯科口腔外科学 准教授 岸本裕充氏	68名

施設長研修会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
施設長研修会	2月28日 ～29日	淡路夢舞台 国際会議場 &ウェスティン ホテル淡路	<b>【1日目(2月28日)】</b> <基調報告> (社)兵庫県老人福祉事業協会 会長 石田文徳氏 <行政説明> 『平成24年度介護報酬改定について』 厚生労働省老健局老人保健課 課長補佐 日野原友佳子氏 <講演> 『介護保険制度 今後の展望』 淑徳大学総合福祉学部准教授 結城康博氏 <b>【2日目(2月29日)】</b> 『青年部会 東日本大震災被災地視察報告』 (社)兵庫県老人福祉事業協会 青年部会 部会長 三木啓康氏 <講演> 『東日本大震災と施設運営について』 特別養護老人ホーム赤井江マリンホーム 施設長 小助川進氏	109名

軽費・ケアハウス部会職員研修会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
職員研修会	9月26日	県福祉センター	講義『高齢者施設における、園芸療法の取り組みと その効果』 兵庫県立淡路景観園芸学校 主任景観園芸専門員 豊田正博氏	34名

軽費・ケアハウス部会施設長研修会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
施設長 研修会	12月13日	県福祉センター	『軽費・ケアハウスを取り巻く現状 ～介護保険制度の動向等～』 厚生労働省老健局高齢支援課 課長補佐 家田康典氏 「会員ケアハウス一覧～取組事例集添付～」の活用方法 についての説明	29名

サービス評価事業スキルアップ研修会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
サービス 評価事業 スキルアップ 研修会	8月9日	県福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員・事務局紹介</li> <li>・ サービス評価について</li> <li>・ 『サービス評価事業の意義と活用』 関西福祉科学大学 大学院 教授 津田耕一氏</li> <li>・ 『昨年度を振り返って』 Office KURIHARA 栗原紀代美氏</li> <li>・ タイムスケジュールについて</li> <li>・ 事前資料確認方法</li> <li>・ 報告書の作成について</li> <li>・ 委員の心得について</li> <li>・ 各職種別意見交換</li> </ul> 各評価項目確認について統一すべきポイント 実施視察において統一すべきポイント	21名

養護部会職員研修会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
職員研修会	9月27日	県福祉センター	講義 『養護老人ホームのサービスと職員間の連携のあり方』 養護老人ホーム聖ヨゼフ・ホーム 施設長 平岡毅氏	41名

新型養護ケアプラン（パッケージプラン）研修会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
新型養護ケア プラン（パッケ ージプラン） 研修会	10月27日	県福祉センター	講義 『養護老人ホームパッケージプランについて』 養護老人ホーム聖ヨゼフ・ホーム 施設長 平岡毅氏	32名

養護部会施設長研修会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
施設長 研修会	1月12日	県福祉センター	講義 『監査指導結果について』 兵庫県健康福祉部高齢社会課係 係長 向田憲司氏 報告 『養護部会報告』 講義 『養護老人ホーム現状と今後の方向性』 養護老人ホーム丸山 施設長 阿比留志郎氏	26名

### ③ 介護保険施設職員等人材確保支援事業・介護雇用プログラム事業(受託事業)

#### 支援員の配置

本会に支援員を配置し、県が実施する次の2事業について、県と関係施設との間の連絡調整、委託契約及び実績報告のとりまとめ、実施施設への情報提供等の業務を行った。

#### 介護保険施設職員等人材確保支援事業

介護福祉施設等において、主に介護等未経験者を介護補助などの業務に半年間従事(介護補助員)させ、実践的な知識・技術の習得を通じて介護業務に慣れてもらい、介護職員として正規雇用につなげていく事業を行った。  
平成 23 年度より新規事業 29 事業所(29 名)

#### 介護雇用プログラム事業

介護福祉事業者が失業者を有期雇用契約労働者として新たに雇用し、介護施設等で介護業務に従事させるとともに、介護資格取得(介護福祉士・訪問介護員養成研修2級課程)のための養成講座を受講させることにより、介護現場の雇用の拡大と介護人材の育成・確保を図る事業として行った。

介護福祉士	平成 22 年度より継続事業 6 事業所(7名)
訪問介護員養成研修2級課程	平成 22 年度より継続事業 5 事業所(6名) 平成 23 年度新規事業 29 事業所(33 名)

### ④ 福祉・介護啓発事業(受託事業)

福祉・介護に対する県民の理解を一層深めるための啓発事業として、11 月 11 日「介護の日」に合わせて、認知症・認知症ケアをテーマとした公開シンポジウムを実施した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
介護の日 シンポジウム	11 月 4 日	兵庫県農業会館	講演①「認知症高齢者を支えるために」 姫路獨協大学医療保健学部作業療法学科 教授 横井賀津志氏 講演②「支える側が支えられるとき ～認知症の母が教えてくれたこと～」 詩人・児童文学作家 藤川幸之助氏	209 名

### ⑤ 夜間・休日「安心ほっとダイヤル」開設事業(受託事業)

災害復興公営住宅等に居住する被災高齢者等のうち、特に見守りが必要な高齢者について、シルバーハウジングでは「生活援助員(LSA)」が、災害復興公営住宅等では「高齢世帯生活援助員(SCS)」等が対応しているが、夜間・休日の対応が必ずしも十分でないことを踏まえ、フリーダイヤルによる夜間・休日「安心ほっとダイヤル」事業を開設し、被災高齢者等の見守り体制のさらなる充実を図った。

#### 相談実績

相談窓口設置地区	登録者数	相談件数
阪神地区	552 世帯	16 件
淡路・東播磨地区	67 世帯	
合計	619 世帯	16 件